

平成 20 年 5 月 23 日
有限責任中間法人 JA バンクアグリ・エコサポート基金

～JA バンクが取り組む CSR 事業～ JAバンクアグリサポート事業の実施状況について

JA バンクでは、日本の農業・農村に対して、より踏み込んだ支援策を展開し、自らの社会的使命に応えていくため、JA バンクアグリサポート事業を展開しております。

当基金は、平成 19 年 10 月にこの事業の実施主体として農林中央金庫の基金拠出により設立され、事業に取り組んで参りましたが、このたび 5 月 23 日に第 1 回定時社員総会を開催し、平成 19 年度事業報告と平成 20 年度事業計画の承認が行われましたので、ここにお知らせします。

なお JA バンクアグリサポート事業の全体像につきましては**別紙 1**をご参照ください。

1. 利子助成事業の実施状況について

厳しい経営環境に直面する多様な農業の担い手への支援として、JA が行う農業関連ローンへの利子助成を行うもので、平成 19 年度の第 1 回募集においては、13,291 件の融資案件に対し、総額 133 百万円の助成金交付を決定いたしました。

平成 20 年度は助成対象資金として新たに「担い手応援ローン」を追加し、支援対象を拡充いたします。詳細は**別紙 2**をご参照ください。

2. JA バンク食農教育応援事業の実施について

JA バンクによる食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもの農業に対する理解の深耕をはかり、農業ファンの拡大、および地域の発展に貢献することを目的に、平成 20 年度から「**JAバンク食農教育応援事業**」を開始し、以下の具体的活動に取り組みます。

(1) 教材本贈呈事業

食農教育・環境教育・金融経済教育をテーマとする全国の小学生向けのオリジナルの教材本を制作し、JA バンクが小学校に贈呈する事業を開始します。

<教材等の概要>

- | | |
|------------|---|
| 概要: | 小学校の授業において補助教材として活用されることを目的とする食農教育・環境教育・金融経済教育を基本テーマとする 3 分冊 |
| 対象学年: | 小学校 5 年生を中心とする高学年 |
| タイトル・関連教科: | 「農業の今と日本の食」(食農教育編)～社会科, 総合学習の時間, 家庭科
「農業のやくわりと環境」(環境教育編)～社会科, 理科, 総合学習の時間
「農業のしくみとお金のしくみ」(金融経済教育編)～社会科, 総合学習の時間 |
| 特徴: | テーマ毎に短時間で、教科書と組み合わせ活用できるほか、ワーク, 問題解答形式等、児童による作業的要素を盛り込んでいます。 |

制作費等： 年間 5 億円程度

(2) JA 等による食農教育, 環境教育, 金融経済教育の教育活動に対する助成事業

全国の JA 等が実践する子どもを対象とする食農教育・環境教育・金融経済教育を共通テーマとする教育活動に対して当基金が費用助成を行うことで, これらの取組みを拡充していくことを目指します。

<助成事業の概要>

活動の実施主体: JA・農業協同組合連合会等

助成対象活動: 子どもを対象とする食農教育, 環境教育, 金融経済教育の教育活動

事業費: 年間 10 億円程度

活動の実施主体や助成対象活動は, 全国の教育活動助成要領に基づいて, 都道府県信連等が定める都道府県版教育活動助成要領のなかで定められます。

これらの食農教育等の活動に関しては, 適宜情報発信を行っていきます。

3. その他

当基金は, 上記 2 つの事業のほか, 平成 19 年度から「食と地域の文化発信事業」と称して産地の地域活性化に向けた取組みを発信する事業を展開し, 専用ウェブサイト <http://www.shoku-forum.com> にて活動状況を公開しております。

さらに平成 20 年度から, 農業分野・環境分野等における個別経営体へのリスクマネー供給を企図した「投資事業」を開始する予定としており, 現在, 具体的な検討を進めているところです。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

有限責任中間法人 JA バンクアグリ・エコサポート基金 (松本) TEL 03-5283-3700

JAバンクアグリサポート事業の概要

- **事業概要** 農業担い手に対する支援，農業及び地域社会に貢献する取り組みなどに対する支援，消費者など農業への理解・関心を高める取り組み，以上 3 つの切り口から，農業振興に貢献する事業を展開していくもの

- **事業実施主体** 有限責任中間法人 JA バンクアグリ・エコサポート基金

所在地： 東京都千代田区内神田1丁目1番12号

設立日： 平成19年10月2日

社員資格： JAバンクの会員等(JA, 信連, 農林中央金庫)

役員： 理事8名・監事1名

会長理事	奥田 碩	(トヨタ自動車株式会社取締役相談役)
理事	見城 美枝子	(青森大学社会学部教授)
理事	中村 直人	(弁護士、中村・角田・松本法律事務所)
理事	半田 嘉弘	(財団法人日本防災通信協会理事長)
理事	藤井 良広	(上智大学大学院地球環境学研究科教授)
理事	宮田 勇	(全国農業協同組合中央会会長)
理事	開田 和	(JAバンク代表者全国会議議長)
理事	上野 博史	(農林中央金庫理事長)
監事	甲良 好夫	(公認会計士、甲良好夫事務所)

- **事業費** 農林中央金庫より3か年で100億円程度を拠出

- **事業実施期間** 平成19年度から平成21年度の3か年

- **事業内容**

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
農業担い手に対する支援	利子助成事業 JAが行う農業関連の融資に対して最大1%の利子助成を実施		
		投資事業 農業・環境分野の経営体に対し出資等による支援を実施	
農業および地域社会に貢献する取り組みなどに対する支援		JAバンク食農教育応援事業 JA等が行う食農教育等の活動に対し助成等を実施	
農業への理解・関心を高める事業	食と地域の文化発信事業 NHK 教育・読売新聞と「食と地域を考えるフォーラム委員会」を構成し、産地の取り組みを発信 http://www.shoku-forum.com		

再整理し、必要な事業を継続・追加・改廃

JAバンクアグリサポート事業における利子助成事業の実施状況

■ 利子助成事業の概要

実施主体 有限責任中間法人 JA バンクアグリ・エコサポート基金

目的 厳しい経営環境に直面する多様な農業の担い手に対し、借入負担の軽減を図ることでそれぞれの農業経営がより成長していくよう支援を行うもの。

事業実施期間 平成 19 年 4 月から平成 22 年 3 月の 3 か年

助成対象資金 JA が融資する下表の農業関係資金を基本として、当基金が承認したもの。

資金名	資金の特徴	利子助成の対象範囲
①スーパーS 資金	認定農業者に対する運転資金	助成対象期間に借入実績があるもの
②アグリスーパー資金	水田・畑作経営所得安定対策対象者に対する運転資金	助成対象期間に借入実績があるもの
③JA 農機・ハウスローン	農機・ハウス購入にかかる 10 年以内の設備資金	助成対象期間に新たに借入を行ったもの(最終償還期限まで助成を行う)
④担い手応援ローン (今回追加)	JA の税務対応支援等対象者に対する運転資金	助成対象期間に借入実績があるもの

※ 上記資金は JA によって取扱いがない、資金名が異なっても助成対象となる等、各都道府県での取扱いが上表と異なる場合があります。取扱い JA に、都道府県毎に作成した募集要項を設置しておりますので、こちらでご確認いただけます。

■ 第 1 回募集の承認結果

助成内容 都道府県単位で当基金が承認した助成対象資金につき、平成 19 年 4 月～12 月の利息分について、1%の助成を行うもの

助成承認件数(申請を受けたうち基金が承認した件数) 13,291 件 (43 県域・535JA)

助成総額 133,644,167 円 (1 件あたり 10,055 円)

■ 第 2 回募集の概要

助成対象者 助成対象期間に JA から助成対象資金の借入を行った農業者および農業経営体

助成対象資金 都道府県単位で当基金の承認により作成した募集要項に基づきます。

助成対象期間 平成 20 年 1 月～12 月 …対象資金のこの期間の利息分について助成を行います。
(※第 3 回募集は平成 21 年 1 月～12 月の期間が対象となります。)

助成金額 助成対象資金の助成対象期間における借入平均残高に最大 1%の助成率を乗じた金額
(※案件によって助成率が異なる場合があります。)

募集期間 平成 21 年 1 月～2 月

助成金の交付予定 平成 21 年 6 月 (※当基金の承認を経て振込により助成金を交付します。)

助成申請窓口 申請者が助成対象資金を借り入れている JA (※募集要項により告知)

以上